

Israel Monthly Trends

2025年4月

目次

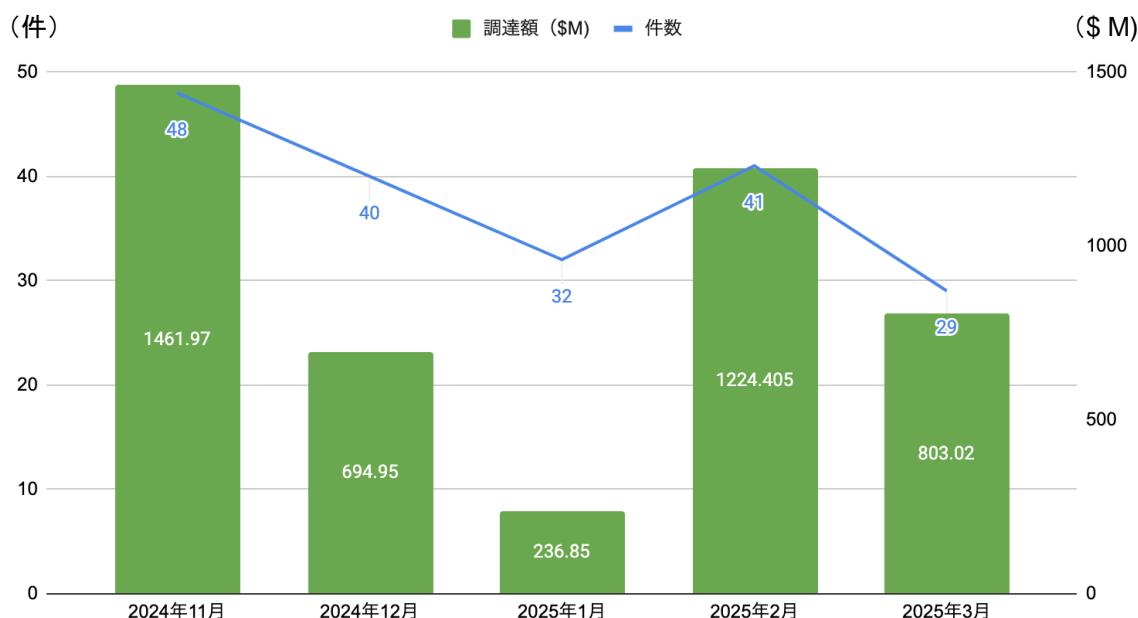
1. イスラエルの現在の状況_3月	p.2
2. 今月の注目テーマ：生成AI	p.3
3. 生成AIに関連するスタートアップ	p.4

本レポートは、「スタートアップエコシステムが発達しているイスラエルで、どのようなイノベーションが起こっているかを伝える情報提供を目的として作成されています。本レポートが日系企業の戦略策定の一助になれば幸いです。

1. イスラエルの現在の状況_3月

2025年2月16日から2025年3月15日におけるイスラエルのスタートアップへの資金調達動向は、案件数が29件で、調達額の合計は8億320万ドルであった。前期（1月16日から2月15日）の資金調達に比べて、案件数と調達総額は減少した。

イスラエル・ハイテク企業 月別資金調達推移



出典：IVC Data（2025年3月16日アクセス）、Jakore作成

本レポートの毎月のデータ収集期間は、前月16日から当月15日までとなる。

2025年2月から3月初旬にかけて、複数の企業が異なる資金調達ラウンドで成功を収めた。ソフトウェア企業のDream Security社はシリーズBラウンドで1億ドルを調達した。Augury社はシリーズFラウンドで7,500万ドルを調達した。Quantum Machines社はシリーズCラウンドを成功させ、1億5,000万ドルを調達した。Cybereason社はシリーズHラウンドで1億2,000万ドルを調達した。

2. 今月の注目テーマ：生成AI

生成AIは世界規模の潮流であり、スタートアップハブがAI分野で成功するためには、AIエンジニア、データと計算資源へのアクセス、資金の確保が不可欠である。米国と中国がこの分野を牽引している中、GPTの代替ともいえる「Jurassic」という大規模言語モデルを開発しているAI21 Labs社のような企業によって、イスラエルも世界のAIエコシステムにおける主要拠点の一つとしての地位を獲得している。

しかし、この分野で動いているのはスタートアップだけではない。Wix社、Lightricks社、Fiverr社など多くの既存テック企業も、より豊かなユーザー体験と新しい創造性、自動化を製品にもたらすために生成AIを積極的に取り入れている。たとえば、Wix社はChatGPTを活用してユーザーがウェブサイトのテキストを自動生成できる機能を提供し、Lightricks社ではStable Diffusionを利用してAIによるポートレート制作を可能にしている。

IVC Research Center (<https://www.ivc-online.com/>) のデータベースによると、2022年1月から2025年4月の間にイスラエルで設立された生成AI関連のスタートアップ企業は143社にのぼる。

多くの創業者が公表を控えるステルスマードを選択しているため、実際の生成AIスタートアップの数はこれより多いと考えられており、今後も急速な成長が見込まれている。

イスラエルの生成AI分野における成功の秘訣は強力なAI環境

イスラエルは、さまざまな分野でAIに関する強力なリーダーシップを有しており、以下の分野で活躍が顕著である。

◆ イスラエルにあるグローバルR&Dセンター

- Nvidia社: ハイパースケールの生成AIスーパーコンピュータを擁する
- Google社: 米国を除いた、最大規模のAI調査チームを有する
- Microsoft社: GPTのセキュリティとオフィス共同パイロットをリード
- その他50以上の多国籍企業: さまざまな業界をリードするR&Dセンターを展開

3. 生成AIに関するスタートアップ[°]

- **AI21 Labs**

(<https://www.ai21.com/>)



生成AIの開発における先駆者であり、イスラエル国防軍（IDF）のエリート技術部隊出身のベテランが集結し、AI21 Labs社を創業した。同社は、自然言語を深く理解し、流暢に生成するAIシステムの構築を目指している。

- **Bria Artificial Intelligence Ltd. (Bria.AI)**

(<https://bria.ai/>)



Bria.AI社のツールは、高品質な視覚コンテンツの生成を自動化するために設計されており、Responsible AIの利用に深く取り組んでいる。企業向けにカスタマイズされた独自の創造プラットフォームを構築し、画像検索のカスタマイズと生成を重視することで、ユーザーが視覚コンテンツのニーズに応じた最適なサービスを享受できるようにしている。

- **Nokku TP Ltd. (Skeep)**

(<https://www.skeep.io/>)



Nokku社は、eコマースの構造を変える「Skeep」という画期的なAIガイド付きプラットフォームを開発している。ショッピングプロセスの自動化、ゼロパーティデータ（顧客が企業に対して自発的に共有するデータ）の集積の強化、製品推薦の精度向上を通じて、業界の新たな標準を打ち立てている。

- **Hour One AI Ltd.**

(<https://hourone.ai/>)



Cyera社は、企業の重要な資産であるデータを分析し、保護するための技術であるデータセキュリティオプチャ管理（DSPM）を開発している。この技術を活用することで、企業は自社のデータ状況を迅速に把握し、データ関連のリスクやセキュリティの脆弱性を具体的に認識することが可能である。

- **Ask AI Technologies Ltd.**

(<https://www.ask-ai.com/>)



Ask-AI社は、顧客関係管理の改善に特化したプラットフォームを開発した。同社のプラットフォームは、企業の膨大なテキスト情報と顧客のコミュニケーションをスムーズに統合するツールであり、自然言語処理の力を借りてユーザーの問い合わせに適切に対応する回答を提供することを目指している。